

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	月1回のつばさ便り、訪問も頻回でその都度聞き取りをしているが、施設での生活・医療面での細かな情報がご家族に伝わっていない事がある。	情報をお伝えするための仕組み作り。	GH玄関に会議録を掲示し、施設運営を知って頂く。つばさ便りに個々の情報(生活面・医療面)を記載する欄を設け、日々変化(重度化)していく情報をよりタイムリーに伝えていく。	3ヶ月
2	26	介護計画の目標が抽象的な表現となっている。	ご利用者の意向にも着目し、具体的な目標を設定する。	3ヶ月で達成できる、よりのを絞った目標にする。ご利用者の本音の部分が引き出せるよう、つぶやきや様子等観察し、職員間でカンファレンスを行う。目標内容は会議等を通じて情報共有する時間を持つ。	3ヶ月
3	49	外出…夕方の職員数が少なく、又、食事介助等で職員が手一杯の時間帯のご利用者の外出が課題。	昼食後の散歩(14:00-14:30)の奨励。散歩を日常の習慣にする事で外出したいというご利用者の欲求を満たす。冬季でも散歩する。距離を短くして行う。	夕方の散歩したい気持ちの方を、昼食後散歩への切替。習慣化し当日の寒暖記憶を持てるようにする。施設廻りを半周散歩。所要時間10分程度。複数人で行う。冬は防寒着着用。	3ヶ月
4	2	イベント時等の来訪者はほとんど顔馴染み(地域役職者等)で新しく、また気軽に来て頂けるような関係は築けていない。また、ご利用者の知人等の訪問が少ない。	地元出身のご利用者の知人は来訪されている。セキュリティ、個人情報もあるので、ご家族との連携を図りながら、昔馴染みの方にも来訪して頂けるようにする。又、一般の方の訪問は、ボランティアなどを募っているが、何か助けることで参加して頂く事にすれば増えると思い、目標立てする。	喜楽会(老人会)の積極的な参加を促す。喜楽会メンバーとの企画応援を依頼する。ご利用者の知人等から連絡があった場合は、ご家族にこちらから連絡し、承諾を得られた場合のみ来て頂く。	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。